

書香

1999. 10. 21

No. 34

目

次

- ◎ 松江, ダラム, そして「ヘルン文庫」
(人文学部講師 内山 純蔵) 1
- ◎ **諸 報**
 - ヘルン文庫中の仏教研究書
(附属図書館長 小谷 仲男) 2
 - 新書判と欧文研究誌 MJTU
(理学部教授 東川 和夫) 4
 - 開学50周年を迎えた大学図書館の取組
—平成9年2月新館増築竣工後から現在まで—
(附属図書館事務部長 竹若 重勝) 5
- ◎ **ニュース**
 - 本学教官執筆図書案内 9

- ◎ **シリーズ**
 - 《CD-ROM情報サービスの紹介(XIII)》 12
 - 参考図書案内 13
 - 全国国立大学大型コレクション及び
自然科学系特別図書案内 15
 - 富山大学附属図書館文献複写規則の一部改正 15
 - 附属図書館統計 16
 - 図書館関係会議 18
 - 平成11年度附属図書館商業員名簿
(平成11年10月1日現在) 18

松江, ダラム, そして「ヘルン文庫」

人文学部 講師 内山 純蔵

私は英文学の専攻でもなく、ラフカディオ・ハーンの著作をたいして読んだわけでもない。せいぜい、小学4年のとき、先生が国語の時間に例の『怪談』の日本語訳を朗読して下さって、あまりに真に迫っていてしばらく夜便所に行けなくなったほどの恐怖を覚えたぐらいである(ぐらい、というにはそれは余りに強烈な印象を私に与えたのだが)。

大学院に入って研究者を目指すようになってから、ハーンを少しずつ意識するようになった。私が学生時代に訪れ、滞在し、印象に強く残った東京、松江、ダラムと、なぜか必ず彼の足跡が残されていたのである。ハーンについての知識はほとんどないながら、これらの町々にあるハーンの記念館や記念碑を訪れるたびに、これらの町々が彼の人生の中にどんな影を落としていったのか、ちょっとした関心を持つようになった。

松江と出雲地方は縄文時代の研究者である私にとって現在に至るまで大切なフィールドのひとつである。ハーンが『神々の国の首都』で描き出したような、静かでいて深い情念を秘めた土地土地を、私もまた何度も、四季それぞれを、歩いた。それは縄文時代をはじめとする古代の史跡を、史料を求めてのものだったのだが、車のなかった私は、目的地へはいつもバスや地方鉄道を利用し、さらにはときには2時間も徒歩で行ったのだった。最も鮮烈だったのは冬で、宍道湖のまわりの低湿な土地に薄く雪が積もり、そばを流れる運河に小さな船がさざ波を立てて行くような場所を、都会ものの装備不足で、簡単な町靴で足先が凍えそうになりながらずっと歩いていったのを憶えている。それにひきかえ、夏の印象はまた対称的で、深い緑の中で青い海が垣間見える十六島(うっふるい)の海辺は、これまた素晴らしい光景だった。ハー

ンが、はじめて自分の家族を得た、この土地の人々は、私の知るどの土地よりも寡黙に見え、しかしとても含蓄深い穏やかな人々であった。

イングランド北東部の小さな町ダラムは、また寒い土地であった。ハーンは、この土地で13歳から17歳までを過ごしている。私はこの町の大学に、ハーンの松江滞在とちょうど同じ、1年と3ヶ月の間、留学のため結婚後間もない妻とともに滞在した。中心部の岩山に11世紀以来の歴史を持つ大聖堂があり、その周りを深く刻むようにウィアー川が流れる。自然科学、人文科学の一つの本流を生んだこの国に学ぶことは私の念願であり、ダラムに落ち着いて以来、何度もこの大聖堂とそれを取りまく川辺を散策し、それだけでも近代諸科学の奥底に確実に根付いているキリスト教的な雰囲気に触れる心地がし、高揚した静けさのような、ある種の感慨に浸っていたのを思い出す。季節の移り変わりは松江と同様、鮮やかであった。冬には零下20度を下回って凍てついた風景—それは本当に凍てついていて、この町の坂の多い道が凍りつき、歩くのが困難なほど—、また短い夏にはうってかわって町角町角に花が咲き、蜜蜂が飛びまわる色鮮やかな季節となる。人々はまたひとときわ内気で、くぐもった風に聞こえるこの地方独特の方言が、松江を思い起こさせたものだ。

ハーンはその青春をダラムで過ごし、その後アメリカ大陸、西インド諸島を経て日本に渡り、松

江で伴侶を得、松江・出雲をはじめとする日本の風景を、みごとに活写し、さらに東京でその生涯を終えた。私は東京で大学生活を送り、松江・出雲に深く関わり、そして結婚し、ダラムで学生生活を締めくくった。今のところ、ハーンと全く逆のコースを歩んできたことになる。またハーンは西欧的精神の底流をなすキリスト教と近代合理主義を懐疑したのに対し、私は逆にそれらに直接触れる憧れを持ってきた。しかし、私のつたない経歴をハーンの漂白になぞらえることが許されるならば、両遍歴の背景を成す町々の雰囲気には、対称的な冬と夏、そして寡黙で奥深い人々、といった共通点があるように思える。ハーンは松江の冬が寒すぎるといった、耐え難いとさえ述べている。しかし、ダラムを含めたそうした厳しい風土に生きる人々を愛し、その文化は、彼に大きな出会いをもたらした。一見、ハーンと逆のコースを歩んできた私だが、彼に奇妙な親近感を覚えるのは、彼の愛した、あるいは深く関わらざるを得なかったなものに、私もなぜかまた深く関わっている、という自覚からかもしれない。

私はいままた、数多のハーンの蔵書を有する富山大学に籍を置いている。これからも、折りに触れ附属図書館内「ヘルン文庫」を訪れ、ハーンに出会い、その「なにものか」を確かめるべく勉めてみたい。何かそれは、とても大切なもののような気がするのである。

諸 報

ヘルン文庫中の仏教研究書

附属図書館長 小 谷 仲 男

ラフカディオ・ハーン＝小泉八雲（1850－1904）が生前に所蔵した蔵書2,435冊がヘルン文庫として富山大学附属図書館に一括収書されている。その大部分は英米文学とフランス文学の書物であるが、『怪談』などの素材となった和漢書もある。そのほかハーン（ヘルン）が関心をいだいた東洋の宗教に関する研究書があり、重要な存在である。先日6月28日に京都府立大学名誉教授の榊井幹生氏ら10人のハーン研究者がヘルン文庫を訪問された。「東洋史を専攻する私はあまりヘルンさんとは縁がないので…」と簡単な挨拶をただけで、私は講義のため中座させていただいた。ヘルン文

庫の説明、案内には富山大学名誉教授（人文学部英文学）の平田純先生にお出ましを願った。あとで平田先生にうかがうと、専門的な意見交換もでき有意義であったということであった。双方に失礼にあたらずにすみ、安心した。

一行の中に松村恒氏（大妻女子大学、比較文化学部教授）がおられ、その後に礼状といっしょに論文抜刷をいただいた。私が館長であることを知らずに訪問され、驚かれたという。贈っていた論文には私がむかし書いた「賢者の子裁判」（1971年）が引用されていた。それは私がパキスタンでガンダーラ仏教寺院址の発掘調査し、そこ

で出土したユニークな彫刻を苦心の末、仏教教典のひとつ、ジャータカ（ブッダの前生物語）の一話で絵解きしたものである。二人の母親がひとりの子を争う裁判で、賢者マホサダは子供の手足を両方から引っ張り合いをさせた。ひとりの女は泣き叫ぶ子供の声に最初に手を放してしまった。そこで賢者はその女を真の母親と決したという物語である。『旧約聖書』列王紀の中にも、ソロモン王の裁判として同様の話が語られている。松村恒氏は最初仏教教典（特にギルギット出土のサンスクリット写本）に含まれるインド仏教説話に関心をもち、ついで比較文学、ヘルン研究へと研究領域を拡大されたという。

今、ヘルン文庫の目録を見ると、私が先の論文を書くあたり一生懸命に読んだ仏教説話の研究書三冊が含まれており、私もまったくヘルン文庫と無縁とはいきれない。

Cowell, E. B. (tr.), *The Jātaka*. 4 vols. Cambridge University Press 1895-1901.

Rhys Davids, T. W. (tr.), *Buddhist Birth Stories ; Jātaka Tales*. Boston 1880.

Burnouf, E., *Introduction à l'histoire du buddhisme indien*. 1876.

私は榊井、松村先生たちの訪問をうけたあと、二、三日してオランダのライデン大学で開催された南アジア考古学国際学会（7月5日－9日）に出席した。そこで新発見のガンダーラのジャータカ彫刻数点と、最近中国の学者がキジル石窟のなかで「賢者の子裁判」と比定した壁画を加えて報告した。私にとって「賢者の子裁判」を取り上げるのは久しぶりのことであり、帰国後松村氏の手紙に接し、その偶然の重なりに驚いた。その時の国際学会を担当したのは、ライデン大学の中で特にインド学研究の中心となっているケルン研究所であった。この研究所を創設（1925年）したのは、当時のライデン大学教授のフォーヘル Ph. J. Vogel (1871-1958) であり、初代所長を務めた。フォーヘルは1910年代にガンダーラやマトゥラーで仏教寺院の発掘調査をおこない、新出土の彫刻と仏教

説話の比定など、大きな業績を残した学者である。副所長にはボロブドゥール遺跡研究で有名なクロム N. J. Krom 教授が就任した。ケルン研究所の名称はインド学、仏教学を学ぶ者にはよく知られた草創期のサンスクリット学者ケルン H. Kern (1833-1917) に由来し、ケルンもライデン大学が誇りとする学者である。富山大学ヘルン文庫にはそのケルンがサンスクリット原典を校訂、英訳した『法華経 (*Saddharmapundarika*)』、ならびにケルンがサンスクリット本テキストを校訂・出版し、かれの弟子スパイエルが英訳した仏教説話集『ジャータカ・マーラー (*Jātakamālā*)』がきちんと収書されている。

H. Kern(tr.), *The Saddharma-Pundarika : or The Lotus of the True Law*. (Sacred Books of the East, Vol. XXI). Oxford, Clarendon Press 1884.

J. S. Speyer(tr.), *The Gātakamālā : or Garland of Birth-Stories by Arya Sūra*. (Sacred Books of the Buddhists. Vol. 1) London, Henry Frowde 1885.

以上はハーンの所蔵した仏教研究書のごく一部であり、中にはシリーズのひとつとして購入したものもあり、ハーンがどこまで目を通し、どの程度かれの著作に影響を与えているのか、専門外の私にはわからない。しかしこれらの書は100年後の今日に至るまでくりかえし復刻されており、需要が絶えないことがわかる。他大学、あるいは個人ではリプリント版で所蔵する機会が多いのではないかと思う。ハーンの東洋の宗教に対する思い入れの深さと収書感覚の良さを改めて感じる。ヘルンの蔵書を苦心して富山の地にもたらしたのは、旧制富山高等学校の初代校長南日恒太郎であった（1923年）。かれにはすぐれた蔵書がすぐれた人材を招き寄せうるという自負があった。その建学精神はヘルン文庫を受け継いだ富山大学にも引き継がれているはずである。今後とも富山大学附属図書館ならびにヘルン文庫が大切に維持され、広く活用されることを望む。



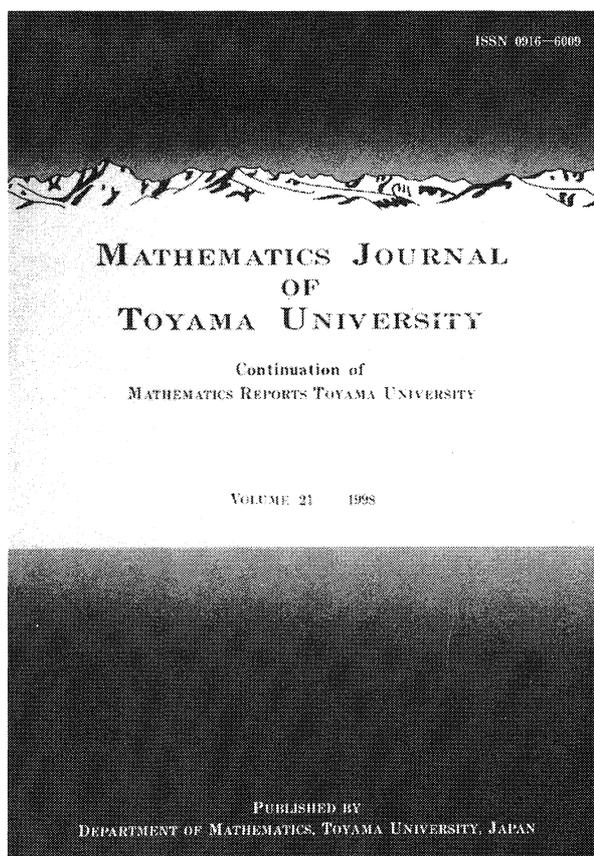
新書判と欧文研究誌 MJTU

理学部 教授 東川和夫

日本における殆どの本は、ノート、コピー用紙と同様、その長方形は、二つ折りにすると元の長方形と同じ形になるという特徴を持っています。A4判はA3判を半分にしたもの、B5判はB4判を半分にしたものです。これらの長方形は、縦横の比が $\sqrt{2}=1.414$ で、**ルート2長方形**と呼ばれています。ちなみに、全紙であるA0判は面積が 1m^2 、B0判は面積が 1.5m^2 です。またB5判の長い辺は、ちょうどA5判の対角線の長さになっています。

他方、中公新書などの**新書判**と呼ばれる少し細長い形の本があります。この長方形は、短い辺で作った正方形を切り取ると、残りの長方形が元の長方形と同じ形になるという特徴を持っています。これは**黄金長方形**と呼ばれていて、縦横の比が $(\sqrt{5}-1)/2=0.618$ という**黄金比**です。黄金比は、次々に前の2つの数を足して作られた数字の列1, 1, 2, 3, 5, 8, 13, 21, 34, 55, 89, 144, ... の隣り合う二数の比をとることにより、後にいくほどより正確な近似値が得られます。これらの数字は、**フィボナッチ数**と呼ばれています。例えば、55対89は黄金比にずいぶん近い比です。日本の名刺は $55\text{mm}\times 91\text{mm}$ 、テレホンカードは $54\text{mm}\times 86\text{mm}$ であり、マッチ箱の縦と横は 55mm と 34mm なので、これらはみな黄金長方形です。

新書判はアメリカから輸入された形です。アメリカでは、 $8\frac{1}{2}\text{inch}\times 11\text{inch}$ の紙を使います。この紙は、日本のA4判より縦を少し縮め横を少し広げた形をしていて、ほぼ同じ大きさですから互いにコピーをとり情報を交換することが出来ます。この $8\frac{1}{2}\text{inch}\times 11\text{inch}$ の紙は、長辺で折半すると縦横の比は85対55で黄金比に近くなります。また、アメリカでの他のサイズのコピー用紙は $8\frac{1}{2}\text{inch}\times 14\text{inch}$ で、比は34対56となりやはり黄金比に近いです。このように、アメリカは黄金比文化圏です。一方、日本は先に述べたようにルート2文化圏です。だから、日本では黄金比を使うと目立ち、アメリカでルート2を使うと目立ちます。アメリカの免許センターへ行って、IDカードをもらったら、ルート2長方形でした。また、日本の運転免許証は、最近黄金長方形に変わりました。黄金長方形や、線分を黄金比で分割する黄金分割



は、古代ギリシャ以来美しいとされ、その名を冠しています。

ところで、富山大学理学部数学教室では、欧文研究誌 *Mathematics Journal of Toyama University* を1978年より毎年1巻の割で発刊していますが、1990年のVol.13より表紙が今のものになりました。そのデザインは、大学から見た立山連邦と、日本海を表し、数学の高貴さと深遠さを象徴しています。当教室の水野透氏の図案をもとに、卒業生の渡辺守氏によって作案されました。水平線が上下を黄金分割し、山の地平線が水平線の上に黄金分割されています。この2つの線の安定性と自然性を味わってください。このMJTUには、国内はもとより国外からも多くの研究論文(年35篇程度)が寄稿され、レフェリー制の下で12篇程が掲載されます。そして、国内をはじめ、国外の多くの大学・研究所に送られています。その対価として、約300種類の研究誌と交換され、当教室が現在所有する研究誌の半分を占め、全国でも(世界でも?)有数の充実した数学図書室のベースになっています。

開学50周年を迎えた大学図書館の取組

—平成9年2月新館増築竣工後から現在まで—

附属図書館事務部長 竹若重勝

今年5月に、富山大学は新制大学として開学してより50周年を迎えました。

加えて間もなく21世紀を迎えるということで、夢を大きく抱きたいところですが、いま国立大学全体は暗雲がたちこめる状況にあります。というのは、恐らく各大学とも独立行政法人化への話で持ちきりであると思うからです。この対応とは別に各大学では、大学改革が依然として推し進められているところですが、こうした中で、昨年と今年にわたって二つの重要な答申が出されました。一つは、平成10年10月に出示された大学審議会の答申であり、これまでの大学改革に関する答申の増補、修正、集大成ともいわれているものです。二つは、平成11年6月に久し振りに出示された学術審議会の答申です。各大学には、この二つの答申を踏えて、更に大学改革を進めるように求めています。すなわち、先の大学審議会答申の「はじめに」の後段で、「……本答申とともに、学術審議会の審議結果も踏まえ、大学等における教育研究の総合的な推進が図られることを期待したい。」と述べています。私はこの二つの答申で出てくる語句から、「個性の輝く大学そして知的存在感のある大学」を、これからの大学像を表わすキーワードとすることにしました。それから、このキーワードの大学ということばを、大学図書館に置き換えれば、きたる21世紀の大学図書館像が見えてきそうに思いますが……。

大学図書館を取り巻く外気の様子が、大分穏やかでないことは確かですが、これからの大学図書館の方向付けとしては、示された指針に沿って行動計画を立て、粛々と歩んで行くほかないように思います。

さて、本論に入りますが、私がこの「書香」(No.30 1998.10.20発行)で述べました四つの大学図書館の機能区分に従い、本学附属図書館がサービス充実のために取り組んできた内容を紹介することにします。

1 伝統的図書館機能

「大学図書館は、大学の研究・教育に不可欠な図書館資料を効率的に収集・組織・保管し、利用者の研究・教育・学習等のための利用要求に対し、

これを効果的に提供することを主要機能とする。…」(大学図書館基準(昭和57年5月改正)の「2」の(1))とある。従来から、図書館職員によって守られてきた図書館機能である。

(1) 全面開架方式への切替

平成9年度から、利用者が書庫に入り、読みたい本を直接に手に取ることができるようになった。利用者への一層の利便を図るべく、現在もお書庫内の配架の工夫改善のための作業が、図書館職員の手により進められている。

(2) 学術雑誌の集中化・共同利用化

平成9・10年度にわたり、新館2・3階に電動式集密書架が導入され、研究室等に分散して利用しにくかった学術雑誌の集中化と共同利用化が図られている。平成10年度には、工学専門図書室の一部にも、最新の電動式集密書架が導入された。

(3) 川合文書目録(初版)の刊行[A4版219頁]

我が国の近世史の研究に欠くことのできない加賀藩の農政記録で、3,441点からなる。昭和2年に旧制高岡高等商業学校(本学経済学部の前身)に譲渡された際の旧目録により検索していたが、平成9年度に新目録を刊行したことにより、検索がスムーズに行える。

(4) 小泉八雲関係文献目録(改訂版)の刊行[A4版375頁]

小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)の著書や八雲に関する伝記及び研究論文等の目録は、昭和34年に初版が刊行されているが、それ以降のデータを追加収録した改訂版を、平成9年度に約40年ぶりに刊行した。

(5) ヘルン(小泉八雲)文庫目録(改訂版)の刊行[A4版503頁]

八雲が所有していた本2,435冊の目録の初版は、昭和2年ヘルン文庫が設置されていた旧制富山高等学校の教官により刊行されている。

平成10年度には、約70年ぶりにこの改訂版を刊行した。初版との違いは、書誌をより詳細に記述したこと、日本十進分類法(NDC)による分類目録を追加したことなどがあげられる。

(6) 菊池文書目録(初版)の刊行(予定)

藩政初期より明治に至る約200年間の農政に関

する旧記や文書2,890点からなる。平成10年度文部省科学研究費補助金による目録整理が予定どおり終了したことにより、目録刊行を近く実現したい。

(7) 図書館利用説明会の実施

マルチメディア研修室が新しく設けられた平成9年度から、新入生等を対象として開講されている教養教育の科目「言語表現」の指導教官から申し出がある場合は、図書館職員も利用説明するなど協力している。これとは別の附属図書館独自の利用説明会は、新入生、在校生を対象別に行っており、今後は院生、研究者等を対象にした比較的高度なものも行っていきたいと考えている。

(8) 情報リテラシー教育用テキストの刊行

〔A4版44頁〕

平成11年度から、教養教育の科目「言語表現」のテキストとして使用できるように作成した。この科目を履習する新入生等が、図書館の情報検索法についての基礎知識・技能を標準的に修得できるようになった意義は大きい。教養教育委員会でも、このテキストの利用を教官に勧めている。このほか、附属図書館で開く利用説明会等の配布資料としても使用している。

「大学図書館における情報リテラシー教育の源は、学問的には書誌学であり、実践的には図書館利用教育である。」(芝崎順司「大学図書館における情報リテラシー教育」『NIME』1999.8 No.13 P8)は、我々図書館職員にとって、示唆に値することばである。

(9) 学生用図書購入費の増額措置

増築後の図書館の中身の充実を図るという方策の一環として、附属図書館商議会において、もっと学生に読ませたい教養図書、最新版の辞典等の購入整備は急務であるとの意見が出された。そこで、事務局と協議の結果、平成10年度から教官・学生当校費に対する定率の改訂を要求することとなり、評議会において認めてもらい、応分の図書購入費の増額が図られた。

(10) 購入希望図書の申込受付

前記(9)により、図書購入費の増額措置に伴い、平成10年度から学生自身が購入してほしい図書があれば、申し込めるようにした。年度当初に予算枠を設けて実施している。平成10年度は28点、11年度は現在までのところ、18点が購入されている。

(11) 学生用新着図書及び本学教官等の著書展示コーナーの設置

平成10年度から、学生が新着図書に直接目に触

れることにより、学習意欲を醸し出す効果をねらって、1週間程度の暫定の別置を実施した。また、本学教官の著書を、コーナーを設けて別置している。

2 電子図書館的機能

電子図書館的機能は、あくまでも手段的機能で、それは全体としての図書館機能をより効率化・高度化に向けるものであり、大学図書館の充実につながる。

(1) オンライン蔵書目録(OPAC)の提供

本学が所蔵する図書約89万冊(平成11年3月)のうち、昭和60年以降に受け入れた図書約38万冊及び約1万5千種の雑誌の目録データベースがインターネットで検索できる。なお、昭和59年以前に受け入れた図書目録のデータベース化の実施計画も早急に策定したい。

(2) 電子化資料の情報提供

当館では、CD-ROM等のパッケージ型やインターネット上で見ることが出来るネットワーク型の電子化資料の整備に努めている。CD-ROMサーバシステム導入により、雑誌記事索引、科学技術文献速報などの二次情報がネットワークで検索できる。平成10年度に、文部省の予算措置により、CD-ROMサーバの補強と検索システムのバージョンアップが実現できたので、今後このサービス利用が一層伸びることが予想される。更に、平成10年度から、当館で購読している学術雑誌のオンライン付加サービスとして、電子ジャーナルの最新情報をインターネット上で読むことができるようにした。

(3) 特殊資料の電子化

本学総合情報処理センター等の教官との連携・協力を得て、次のような当館所蔵の特殊資料の電子化を進めている。

イ. 川合文書及び菊地文書の目録・画像データベース

平成9年度には川合文書目録、平成11年度には菊地文書目録のデータベース化を行い、同時にインターネットで公開した。

また、本学附属図書館としては、初めて平成10年度文部省科学研究費補助金を受けて、両近世文書の画像データベース化に取り組んでおり、平成11年度も継続して行っている。この画像データベースが完成すれば公開したい。

ロ. 小泉八雲関係文献目録データベース

小泉八雲関係文献のリストは、目録冊子刊行

(平成9年度)と同時に、インターネットでも公開した。平成11年度に入り、この検索システムが完成したことにより、キーワードによる検索が可能となった。

ハ. 小泉八雲直筆原稿『神国日本』全文データベース

平成9年度に直筆原稿1,200枚を画像データベース化し、インターネットで公開した。今後研究開発を重ねて、独創的な検索システムをつくり上げ、内容をより充実したい。

ニ. 小泉八雲作品のちりめん本データベース

ちりめん本は、ちりめんに似せた和紙に木版で色鮮やかに印刷し、製本されたもので、明治から大正にかけて日本にきた外国人観光客のお土産用に作られたものである。ヘルン文庫の中の小泉八雲作品であるちりめん本5冊を平成9年度に電子化し、インターネットで公開した。

ホ. ラフカディオ・ハーン(小泉八雲)総合コレクション・データベース

小泉八雲の著書や蔵書、関係文献をデータベース化し、世界に向け情報発信しようと、島根大学、熊本大学及び本学の3大学共同事業として申請していたところ、平成11年度文部省科学研究費補助金が認められた。共同プロジェクトが組まれており、すでにインターネットで公開しているデータベースもある。

国立3大学共同事業としては、全国で初めてということで、マスコミにも取り上げられた。本学の事業計画は、小泉八雲の怪談「耳なし芳一」の底本となった「臥遊奇談」など約30冊の和装本を画像データベース化するものである。なお、この検索システムの構築は、別途平成11年度学長裁量経費により行う。

併せて、要望の強かった「ヘルン文庫目録」のデータベース化のための入力作業を、同じく平成11年度学長裁量経費により行う。

(4) 電子化促進のためのデータベースサーバ増強

特殊資料をはじめとする電子化は、情報公開及び保存管理の上からも有益とされる。このため当館も積極的に取り組んでいる。しかし、電子化を進めていく中で、大きく立ちはだかる問題の一つに、情報を蓄積しておく容量の問題がある。平成11年度に附属図書館として、2件の科学研究費補助金が採択となったことを契機に、データベースサーバ増強について、学長裁量経費を申請したところ、幸いにも採択となった。この支援は、附属

図書館が電子化を進めていく上で大きな力となるはずである。

(5) 図書館業務用電子計算機システムの更新

現有の電子計算機システムの更新時は、平成14年2月であるが、これを1年早め、総合情報処理センターのシステム更新時の平成13年2月に合わせ、契約を一本化にすることとした。最近、多くの大学で見受けられ、当館にとっても、経済的・技術的にメリットは大きいと判断した。このことに関し、快く相談に応じてもらった総合情報処理センターや事務局に感謝したい。

(6) 電子図書館専門委員会設置構想

平成8年7月の学術審議会建議「大学図書館における電子図書館的機能の充実・強化について」が出されてから早や3年がたつ。当館も総合情報処理センターや工学部の教官からは技術的支援を、人文学部や教育学部の教官からは、特殊資料の内容についての専門的指導を受けながら電子化を進めている。今までのように学長裁量経費だけでなく、平成11年度は2件の科学研究費補助金を受けたこともあって、附属図書館が今後このような電子化事業を円滑かつ安定的に遂行していくためには、テーマごとの支援グループ結成ではなく、恒常的な専門委員会のような組織化を検討すべき時期に来ていると考えた。そこで、さる7月23日に開かれた附属図書館商議会において、この専門委員会設置の必要性について説明し、基本的なことについては了承された。

3 図書館の生涯学習支援機能

平成5年12月の学術審議会学術情報部会報告の「5」の(3)として、「大学図書館の地域社会・市民への公開」、平成8年4月の生涯学習審議会答申「地域における生涯学習機会の充実方策について」など社会的要請は強くなってきている。

(1) 地域住民への開放

当館では、全国の国立大学の中でも、いち早く地域住民へ図書の貸出を行うなど先進的に取り組んできた。学外利用を希望する者には、簡単な証明等で図書館利用証を交付し、閲覧、複写のみならず、貸出のサービスが受けられるようになっていく。平成8年度から貸出を開始しているが、学外利用者は年々増えてきている。平成10年度では、①学外者の入館者数は1,173人②学外者への利用証発行枚数は85人③学外者への図書貸出冊数は625冊であった。また、このたび富山医科薬科大学からの申し出により、両大学の相互利用を円滑

かつ適切に行えるように覚書を取り交わした。すでに、全国立大学相互間において、図書資料の相互利用に関する申し合わせがあるが、これをベースにして両大学はより緊密な関係で相互利用を図ろうとするものである。

(2) 大学開放事業「夢大学 in TOYAMA」への参加

全国的に注目されているこの大学開放事業に当館も参加している。平成11年度は富山大学開学50周年記念写真展「目で見える富山大学の50年」と題し、写真資料130点を展示するとともに、年表も展示して、本学の50年の歴史を辿った。写真展会場には、併せて「年史ビデオ鑑賞コーナー」を特設し、懐かしい出来事が収められている映画フィルムからビデオ化したものを放映した。また、例年、ヘルン文庫の公開を行っているが、今年は「ラフカディオ・ハーンの怪談とそのルーツを訪ねて」と題し、怪談の底本となった原本と作品のゆかりの地をパネルにより紹介した。9月11日(土)、12日(日)の2日間の二つの展示の参観者は約600人であった。写真展については、予想外に好評であったことや、できるだけ多くの学生等に観てもらおうと、更に展示期間を1週間延長した。

(3) 大学図書館で初めて開かれた公開講座

富山に住んだことのない小泉八雲の蔵書がどうして当館にあるのか。地域の人々にまだ十分知られていない「ヘルン文庫」にもっと親んでもらおうという発想から、平成10年10月から4回にわたり公開講座を開いた。定員20人のところ13人の受講者がいたが、定員が少ないのに満たせられなかったのは、PR不足ではなかったかとの指摘があった。しかし、単にPRのやり方だけでなく、開講時間や受講料等の問題もあるのではと察する。

4 その他の機能

この項には、学内外の利用者から大学図書館に対して求められる新たなニーズや、逆に大学図書館が学内外の利用者に投げかける新しい情報発信などに係る諸機能が入ることになる。例えば、臨時的な事業として、開学50周年記念事業の中で、附属図書館に関係する事業がある。この事業遂行も、学内事情による固有の機能として、図書館機能の一つに加わる。学内の一部局としてのステータスの維持又は向上のためにも機能を果さなければならぬ。

(1) 図書の充実

開学50周年記念事業として、本学の教育研究の充実を積極的に推進するとともに、附属図書館が教育研究の拠点としての役割を果たしていくために、記念特別図書(大型コレクション)と一般図書(学習参考図書、教養図書)の充実を図ることとしている。図書購入を記念事業として取り上げている大学は珍しく、附属図書館としては一気に図書の充実が図れることから、大変ありがたいと感謝している。

附属図書館商議会において選書中である。

(2) 富山大学開学50周年記念写真集の刊行

年史編纂委員会、写真集作成小委員会、更には事務体制としての年史編纂室が館内に設けられ、年史関係の事業が進められている。そのうち、記念写真集はきたる11月13日の記念式典に配布されることになっている。写真集草案作成に当たっては、年史編纂室(教官の配属なし)に関係する者が全面的に係わらざるをえず、予想外にハードな仕事となったことを、この際付言しておきたい。

(3) 「開学50周年を迎えた大学図書館の取組」と題したホームページ

今年1月に開かれた第1回富山大学懇談会において「富山大学の特徴、ユニークな取組が地域住民にもわかるように、広報を積極的に行うべきである」という貴重な意見があった。附属図書館では、昨年8月から「開学50周年を迎える大学図書館の取組」というテーマで、事業内容をホームページで紹介するとともに、手作りのリーフレットを作成し、地域住民等へ配布した。今年の2月末には、開学50周年記念版リーフレット「あけぼの」(当館1階玄関ホールの壁画『あけぼの』より名付けたもの)を作成し、増築後の施設案内と事業紹介をした。(四つ折8頁、写真入り、カラー刷)配布先も前の手づくりのリーフレットよりも拡大して、地域住民、地元企業、公共機関、マスコミ等に配布した。今年の9月に実施された大学開放事業「夢大学 in TOYAMA」の直前には、「開学50周年を迎えた大学図書館の取組」とテーマを改め、ホームページの改訂を行った。今回のホームページは附属図書館からだけでなく、大学全体のホームページからも直ちにアクセスできる。以上のように、事業展開したもの又はこれからしようとするものを、いち早く情報発信することは、業務に携わる者にとり励みにもなり、気が引き締る思いである。

本学教官執筆図書案内

附属図書館では、本学の先生方が執筆された図書資料を積極的に収集し、本館2階に本学教官執筆図書コーナーを設け配置し、利用に供しています。出版されましたら是非図書館に2部ご恵贈くださるようお願いいたします。

なお、先生方からご寄贈いただいた図書は附属図書館ホームページで紹介するとともに、このページでも紹介します。以下のリストは昭和60年度以降に受入した資料です。

■ 総記

やさしいDelphi／村上宣寛著（教育学部）
日刊工業新聞社 1997（007.64-M94-Ya）

■ 哲学・心理学・宗教

最新コンピュータ性格テスト／村上宣寛著（教育学部）
日刊工業新聞社 1993（141.9-M94-Sa）

性格は五次元だった：性格心理学入門／村上宣寛，村上千恵子共著（教育学部）
培風館 1999（141.93-M94-Se）

■ 歴史・地理

近世の地方都市と町入／深井甚三編（教育学部）
吉川弘文館 平成7年（1995）（210.5-F96-Kin）

近世越登賀（越中・能登・加賀）資料 第一／深井甚三編（教育学部）
桂書房 1992（214.2-F96-Ki=1）

地域システム／溝口雄三等編著
東京大学出版会 1993（アジアから考える2）（220.04-M69-Ch）
内容：アジア地域国際関係の原像（佐藤幸雄）（経済学部）ほか

現代の地理学／中藤康俊編著（経済学部）
大明堂 平成2年（1990）（290.1-N15-Ge）

人文地理学入門／中藤康俊著（経済学部）
古今書院 1985（290.1-N15-Ji）

■ 社会科学

イメージとしての＜帝国主義＞／柏木 博，小倉利丸編著（経済学部）
青弓社 1990（304-Ki15-Im）

アシッド・キャピタリズム／小倉利丸著（経済学部）
青弓社 1992（304-Og-As）
Acid Capitalism

断裂社会：第三世界の新しい民衆運動／アラン・トゥレーヌ著 佐藤幸男訳（教育学部）
新評論 1989（309.02-T64-Da）

市民社会の思想と運動／小柳公洋，桂木健次編著（経済学部）
ミネルヴァ書房 1985（309.023-K84-Sh）
日本ファシズムと「国家改造」論／小松和生著
世界書院 1991（311.8-K83-Ni）

近代天皇制国家の成立／小松和生著（経済学部）
世界書院 1986（社会科学選書）（312.1-K83-Ki）

国際文化交流の政治経済学／林夏生執筆（人文学部）
勁草書房 1999（319.04-H62-Ko）

法的現象論序説／駒城鎮一著（経済学部）
世界思想社 1985（320-K82-Ho）

理論法学の方法／駒城鎮一著（経済学部）
世界思想社 1978（321.16-K82）

社会システムと法の理論／駒城鎮一著（経済学部）
世界思想社 1996（321-K82-Sh）

普遍記号学と法哲学／駒城鎮一著（経済学部）
ミネルヴァ書房 1993（321.1-K83-Fu）

権利のための法学入門／深田三徳，駒城鎮一著（経済学部）
ミネルヴァ書房 1980（323.143-F96）

カリフォルニア会社法／北沢正啓，戸川成弘訳（経済学部）
商事法務研究会 平成2年(1990)（325.95393-C12-Ki）
California General Corporation Law.

環境と福祉の経済学／桂木健次著（経済学部）
ミネルヴァ書房 1987（331-K16-Kan）

支配の「経済学」／小倉利丸著（経済学部）
れんが書房新社 1985（331-Og9-Sh）

マーシャルと同時代の経済学／井上琢智，坂口正志編著（経済学部）
ミネルヴァ書房 1993（331.74-M35-In）

価格水準と所得分配／小原久治著（経済学部）
勁草書房 1985（331.85-Oh-Ka）

ネットワーク支配解体の戦略／小倉利丸著（経済学部）
影書房 1986（332.06-Og9-Ne）

幕藩制解体期の経済構造／小松和生著（経済学部）
清文堂 1995（332.105-K83-Ba）

経済政策原論／小原久治著（経済学部）
高文堂出版 平成7年(1995)（333-Oh-Ke）

現代日本の食糧問題／中藤康俊著（経済学部）
汐文社 1983（講座日本の国土・資源問題4）（334.7-K84-Ni=4）

日本企業の経営理念／水谷内徹也著（経済学部）
同文館出版 平成4年(1992)（335.1-M69-Ni）

レギュレーション・パラダイム：社会理論の変革と展望／海老塚明，小倉利丸著（経済学部）
青弓社 1991（クリティーク叢書7）（361-Eb4-Re）

ポストサービス社会：崩壊する高度技術社会の神話／バリー・ジョーンズ著 小倉利丸訳（経済学部）
時事通信社 昭和59年(1984)（361.5-J71-Po）
Sleepers, Wake!: Technology & the Future of Work. by Barry Jones.

家族とは何か：その言説と現実／J.F.グブリアム，J.A.ホルスタイン著 中河伸俊ほか訳（人文学部）
新曜社 1997（361.63-G93-Ka）
What is Family? / J.F.Gubrium & J.A.Holstein

搾取される身体性：労働神話からの離脱／小倉利丸著（経済学部）
青弓社 1990（366-Og9-Sa）

外国人労働者問題と多文化教育：他民族共住時代の教育課題／藤原孝章編（教育学部）
明石書店 1994（366.8-F95-Ga）

子どもというレトリック：無垢の誘惑／中河伸俊，永井良和編著（人文学部）
青弓社 1993（367.6-N15-Ko）

過去，現在，未来における自己の価値づけの変容過程とその規定要因の検討／塚野州一著（教育学部）
風間書房 平成8年(1996)（371.45-T82-Ka）

外国人労働者問題をどう教えるのか：グローバル時代の国際理解教育／藤原孝章著（教育学部）
明石書店 1995（375-F95-Ga）

新しい開発教育のすすめ方：地球市民を育てる現場から／開発教育推進セミナー編
藤原孝章等執筆（教育学部）
改訂新版 古今書院 1999（375-K12-At=2e）

テキスト国際理解／米田伸次，藤原孝章等著（教育学部）
国土社 1997（375-Y8-Te）

江戸の旅人たち／深井甚三著（教育学部）
吉川弘文館 1997（歴史文化ライブラリー）（384.37-F96-Ed）

■自然科学

Continuous Exponential Martingales and BMO / Kazamaki, Norihiko（理学部）
（410.8-L49-1579）

凶翁 遠近道印：元禄の絵地図作者／深井甚三著（教育学部）
桂書房 1990（448.9-Oc3-Fu）

The Tokuwa Batholith, Central Japan - An Example of Occurrence of Ilmenite - Series and
magnetic-Series Granitoids in a Batholith - / Masaaki Shimizu（理学部）
University of Tokyo press, 1999（455.8-Sh6.4-To）

岡田豊田博士論文選集(1936-1988)／鈴木邦雄編（理学部）
岡田豊田博士論文集刊行会 1988（486.04-Ok-Su）

現代日本の医薬品産業／小原久治著（経済学部）
高文堂出版 平成8年(1996)（499.09-Oh-Ge）

医療用医薬品市場の競争構造／小原久治著（経済学部）増補改訂
高文堂出版 平成7年(1996)（499.09-Oh-Ir-25）

■工学

原発実の起きる日：緊急避難はできるだろうか／山本定明，淡川典子著（教育学部）
技術と人間 1992（543.5-Y.m3-Ge）

■産業

地域経済を支える地場産業・産地の振興策／小原久治著（経済学部）
高文堂出版 平成8年(1996)（601.1-Oh-Ch）

産業地域の形成と変動／植村元覚，中藤康俊著（経済学部）
大明堂 昭和60年(1985)（602.14-Ue5-Sa）

貿易摩擦と独禁法／滝川敏明著（経済学部）
有斐閣 1994（678.1-T14.9-Bo）

幕藩制下陸上交通の研究／深井甚三著（教育学部）
吉川弘文館 平成6年(1994)（682.1-F96-Ba）

■芸術

ガンダーラ美術とクシャン王朝／小谷仲男著（人文学部）
同朋社 1996（東洋史研究叢刊之51）（702.098-K84-Ga）

カルチャー・クラッシュ：制度の壁に挑む文化のアクティビスト／小倉利丸著（経済学部）
社会評論社 1994（704-Og9-Ka）

韓国絵画史／安輝瀟著 藤本幸夫，吉田宏志訳（人文学部）
吉川弘文館 昭和62年(1987)（722.1-An6-Ka）

ゴスペル・サウンド／アンソニー・ヘイルバット著 中河伸俊ほか訳（人文学部）
ブルース・インターアクションズ 1993（767.8-H36-Go）

The Gospel Sound : Good News and Bad Times / Anthony Heilbut

野宿のすすめ：女を野宿に連れ出す方法／村上宣寛著（教育学部）
三一書房 1998（786-M94-No）

野宿完全マニュアル：究極のアウトドア案内／村上宣寛著（教育学部）
三一書房 1996（786.3-M94-No）

■語学

■文学

源氏物語の受容：現代作家の場合／呉羽長著（教育学部）
新典社 1998（913.36-K96-Gen）

《CD-ROM 情報サービスの紹介 (XIII)》

CD-ROM サーバに新しく NSCDNet Intranetを導入!

1. NSCDNet Intranet の導入について

附属図書館では平成11年3月にCD-ROMサーバの増強を図り、新日本製鉄(株)製のCD-ROMネットワーク検索システムNSCDNet Intranetを導入しましたので、その概要を示します。

1-1. システムについて

- CD-ROMサーバは、NSCDNet Intranet
- サーバソフトはWindows NT Server を使用して、TCP/IP, Apple Talk のプロトコルに対応しています。
- 富山大学キャンパス情報ネットワーク(ty-net)に接続している端末(Windows 95以上, Windows NT, Macintosh)であれば、学内のどこからでもネットワーク対応版ソフトを検索することができます。
- 24時間稼働しています。

1-2. 接続方法について

1-2-1. Windows の場合

図書館ホームページ (<http://www.toyama-u.ac.jp/tya/library/index.html>) 「富山大学附属図書館情報資源案内」の中の「ネットワーク対応CD-ROM検索(Windows用)」(<http://libntsv2/>)をクリックしてください。「NSCDNet Intranet」の画面になりますので、そこで「初期設定」をクリックし、画面の指示に従い、インストール手順を実行してください(初回のみ)。また、「雑誌記事索引」を検索するときは、DBセットアップも必要です(「雑誌記事索引」はWindowsのみ対応)。

1-2-2. Macintosh の場合

上記「富山大学附属図書館情報資源案内」の中の「CD-ROMサービス案内」(<http://www.toyama-u.ac.jp/tya/library/cdromJ.html>) をクリックして、以前と同様に、端末設定マニュアル「Macintosh用」(<http://www.toyama-u.ac.jp/tya/library/cdmacman.html>) に従って接続してください。

2. 新規ソフトの紹介

『JICST 科学技術用語シソーラス CD-ROM (1999年版)』を追加しました。

2-1. シソーラスとは

科学技術文献速報CD-ROMを利用する上で、最もよく使う検索項目「キーワード」は、文献の標題・抄録中から切り出したキーワード、フリータームのほかに、シソーラス語といわれる語彙も検索対象にしています。シソーラス語とは、いろいろな主題を表わす多くのことば(自然語)の中で、一定の類義語から集約的・統一的に採用された用語(統制語)のことで、その一覧表をシソーラスといいます。

特徴は、用語の上位=下位概念が明確に体系付けられていて、索引語(すなわち検索語)として採用されなかったことばについては、該当のシソーラス語への参照が指示されています。例えば、次の例のように、「環境評価」ということばは索引語として採用されずに、代わりに「環境アセスメント」を使う旨、参照指示があります。ちなみに、先頭に*印のある語は、非シソーラス語です。

例) *環境評価

USE 環境アセスメント

また、索引作成者が付けた索引語に対して、その上位語もシステムが自動的に付加しますので、下位語を含めた漏れの少ない検索に有効です。

標記シソーラスは、科学技術分野の43,314件の用語を収録するわが国最大のもので、今回のCD-ROM版は、英文版シソーラスも搭載しているため、該当用語の日→英、英→日の対訳が可能になりました。

2-2. 使い方

2-2-1. 目的

最初に確認しておきますが、このソフトはいわばシソーラス語の発見、上位語(BT)・下位語(NT)・関連語(RT)等の確認のために利用するもので、科学技術文献速報CD-ROMのデータベースを検索できるわけではありません。

注) BT: Broader Term

NT: Narrower Term

RT: Related Term

2-2-2. 初期メニュー

- ・シソーラス本体 (英文版あり)
- ・主題カテゴリー別索引 (英文版あり)
- ・分類表 (英文版あり)
- ・物質慣用名-KW対応リスト (英文版あり)
- ・日英・英日対訳リスト

・利用の手引き (このほか、オンライン・ヘルプが各検索画面にあります。ヘルプ・キーをクリックして、使い方のわからない項目にカーソルを合わせれば、説明がでできます。また、前記ホームページの「CD-ROM サービス案内」の中の「科学技術用語シソーラス検索マニュアル (学内用)」(<http://www.toyama-u.ac.jp/tya/library/access/thesaman.html>)にも、全般的な説明がありますので、ご覧になってください。

2-2-3. シソーラス本体の検索手順

- ①「検索語入力」欄に任意のことばを入力する。
- ②フリガナ前方一致、見出し語前方一致または見出し語後方一致のいずれかをクリックする。
- ③フリガナ前方一致の場合、検索結果はシソーラス本体の階層表示画面になります。見出し語前方一致または見出し語後方一致の場合は、検索結果一覧の形で表示されますので、その中から適当なことばをクリックしてください。その語

のシソーラス本体に移ります。

- ④シソーラス本体の中で、より適切なシソーラス語を発見したら、その語をクリックした後に、選択後検索キーをクリックしてください。当該語のシソーラス本体が表示されます。

このように、シソーラスの調査に少し時間をかけても、最適の索引語を使って検索すれば、漏れやノイズの少ない検索結果が期待できます。

2-2-4. 主題カテゴリー別索引

シソーラス本体を検索しようにも適当なことばが思いつかないときは、主題カテゴリー別索引を試してみてください。この索引は、[分野]と[主題カテゴリー]のポップアップ・メニューから任意の分野とカテゴリーを選択すれば、用語が一覧表示されますので、画面をスクロールしながら適当なことばを見つけて、クリックしてください。シソーラス本体の階層表示画面に移ります。

2-3. おわりに

このソフトは、ネットワーク対応版ではありませんので、検索するときは、図書館本館1階南のマルチメディアコーナーに設置してあるCD-ROM検索端末を利用してください。

情報サービス課学術情報係 (内線6900, 3706)

参 考 図 書 案 内

平成10年度に購入しました開架閲覧室備付けの参考図書は、下記のとおりです。多くの利用をお待ちしています。

1. 分子生物学辞典
2. 化学・英和用語集 第2版
3. モーツァルト大事典
4. 科学技術英和大辞典
5. 岩波理化学辞典 第5版
6. 原子力辞典
7. 漢字百科大事典
8. 化学物質安全性データブック 改訂増補版
9. エネルギー・資源ハンドブック
10. JIS工業用語大辞典 第4版
11. 原色牧野植物大図鑑 新版
12. 科学者人名事典
13. 生産システム便覧
14. 情報処理ハンドブック 新版
15. 原色牧野植物大図鑑 改訂版
16. 黒人作家事典
17. 中古中世散文学歌枕地名索引
18. 少年労働に関する文献抄録 全2巻
19. 婦人労働に関する文献抄録 全3巻
20. 放射線用語辞典 第4版
21. 日本のシダ植物図鑑：分布・生態・分類
22. 近代戦争文学事典
23. 犬種大図鑑
24. 西鶴事典
25. 現代韓人名録
26. 現代数理科学事典
27. 中国人名事典：古代から現代まで
28. 国際連合世界統計年鑑
29. 地学事典 新版 全2巻
30. 化学計測ハンドブック
31. 漢英熟語字典
32. NHK世論調査事典
33. 実験化学ガイドブック
34. データブック・国民生活時間調査
35. コンピュータ大百科
36. 学校教育社会学辞典
37. 新教育社会学辞典
38. 新漢英字典
39. 数理情報科学事典
40. 現代数理科学事典
41. コンピュータの事典 第2版
42. 万葉植物事典

43. 英和国際金融経済辞典
44. 会社史総合目録 増補改訂版
45. 航空宇宙辞典 増補版
46. デジタル伝送用語集 第4版
47. マルチメディア事典：インターネット時代を解くキーワード2600語を収録
48. 分離分析のための誘導体化ハンドブック
49. 新エネルギー便覧
50. 和英英和国際環境科学用語集
51. 生命科学論文投稿ガイド
52. 図書館員のための英会話ハンドブック：海外旅行編
53. 鉱業便覧
54. 技術英語構文辞典
55. 新日本分県地図：全国地名総覧
56. 確立モデルハンドブック
57. 食事療法ハンドブック
58. 微粒子ハンドブック
59. 情報総覧現代のロシア
60. 海水魚大図鑑：決定版
61. 日中英電気対照用語辞典
62. コンパクト版情報処理ハンドブック
63. 英和経済用語辞典
64. 最新英和経済ビジネス用語辞典
65. 法律用語対訳集・中国語（北京語）
66. 中英日自然科学用語辞典
67. 国際関係図書目録 45/94 第I-第6
68. 美術家索引 西洋編
69. ブリタニカ国際年鑑 1999年版
70. 世界CD-ROM総覧 1999 vol.11
71. 世界鳥類事典
72. JISハンドブック 情報処理
73. 人工知能大辞典
74. 新英文法用例辞典
75. 日本大百科全書 2版 全26巻
76. コロンビア大学現代文学・文化批評用語辞典
77. 岩波＝ケンブリッジ世界人名辞典
78. 中国歴史文化事典
79. 中国史籍解題辞典
80. 仏教語大辞典 縮刷版
81. 世界史大年表
82. 物性科学事典
83. 物理学辞典 改訂版
84. 物理定数表 新版
85. 化学大辞典
86. 日本産海洋プランクトン検索図説
87. 図解生物学データブック
88. 六法全書 平成10年度版 全2巻
89. 経済新語辞典 98/99年版
90. 英語語法大事典 第4集
91. 理工学辞典
92. 経済産業用語和英辞典
93. 磁気工学ハンドブック
94. 図解世界の色彩感情事典
95. 堆積学辞典
96. 環境大事典
97. ソフトウェア工学大事典
98. 経営科学OR用語大事典
99. 総合調理科学事典
100. 植物群落レッドデータ・ブック：わが国における緊急な保護を必要とする植物群落の現状
101. 家政学用語辞典
102. 近代装飾事典
103. 最新スポーツ大事典 全2巻
104. 民族遊戯大事典
105. 外国人物レファレンス事典 古代-19世紀 全7巻
106. 日本経済統計集：1868-1945
107. 日本史人名よみかた辞典
108. 西洋人名よみかた辞典 増補改訂版 全3巻
109. 近代日本社会運動史人物大事典 全5巻
110. 日本人物文献索引：政治・経済・社会80/90
111. 海外交流史事典
112. 河川大事典
113. 人物レファレンス事典：古代・中世・近世編 新訂増補版 全2巻
114. 西洋人名・著者名典拠録 全2巻
115. 現代日本人名録：98 全4巻
116. ベルテルスマン世界地図帳：日本版
117. 化学工学便覧 改定6版
118. 図書館情報学ハンドブック 2版
119. 日本古典籍書誌学辞典
120. 静電気ハンドブック 新版
121. 半導体用語大辞典
122. 20世紀の物理学 全3巻
123. 現代日本科学技術者大事典 全5巻
124. 西洋人物レファレンス事典：西洋人名典拠録 全3巻
125. 日本分県地図地名総覧 1998年版
126. 図書館年鑑 1998
127. 有機化学事典：遷移金属
128. 郷土資料事典：ふるさとの文化遺産 全47巻
129. グランド新世界大地図
130. コンピュータソフトウェア事典
131. 英語語源辞典
 1. Wer ist wer? Vol.37
 2. Oxford English dictionary. 2nd ed.
 3. The Cassell dictionary of Chemistry
 4. Encyclopedia of library and information science. Vol.62-Vol.63
 5. Annual bibliography English language and literature Vol.71
 6. Britannica Book of the year. 1998
 7. The world of learning. 49th ed.
 8. Encyclopedia of climate and weather. Vol.1-2

工学専門図書室

1. アルミニウムハンドブック 第5版
2. 複合材料の事典
3. 生物学ハンドブック
4. 図解電気工学事典
5. センサの事典
6. 色材工学ハンドブック
7. 機械情報産業総覧
8. 分析化学便覧 改訂4版
9. 地球環境ハンドブック
10. 分離科学ハンドブック
11. JISハンドブック（各種）
12. セラミックス辞典 第2版
13. バイオセパレーションプロセス便覧
14. 粉体工学便覧
15. 金属材料データブック：JISと主要海外規格対照 第4版
16. 遺伝子工学キーワードブック：わかる、新しいキーワード辞典
17. 機器分析ガイドブック

18. 認知科学ハンドブック
19. 新編色彩科学ハンドブック 第2版
20. 科学者人名事典
21. 岩波理化学辞典 第5版
22. 分析化学辞典
23. 化学大辞典
24. 伝熱工学資料 改訂4版
25. 結晶評価技術ハンドブック
26. 日本科学技術関係逐次刊行物総覧 全2巻

1. Handbook of applied photometry
2. The Cassell dictionary of science
3. Dictionary of metallurgy
4. A handbook of writing for engineers. 2nd ed.
5. Telecommunication transmission handbook
6. Longman dictionary of environmental science
7. Engineering mathematics handbook, 4th ed.
8. Electric motor handbook
9. Handbook of heat transfer. 3rd ed.
10. The Wiley engineer's desk reference : a concise guide for the professional engineers, 2nd ed.

全国国立大学大型コレクション及び自然科学系特別図書案内

(平成11年1月～8月)

下記の大学から利用の案内がありましたので、お知らせいたします。
資料の利用については、参考調査係へお尋ねください。

大 学 名	資 料 名
北見工業大学	Handbook of Ternary Alloy Phase Diagrams, 10 Volumes Set. (三元合金状態図集ハンドブック 全10巻)
上越教育大学	「ペスタロッチ・コレクション」 [Johann Heinrich PESTALOZZI (1746-1827)] Total 148 titles. なお、ホームページ http://www.lib.juen.ac.jp に目録を掲載しております。

規則の制定・改正

○ 富山大学附属図書館文献複写規則の一部改正

改正理由

「国立大学等図書館の文献複写について」(平成11年3月31日付け文学情第239号、文部省学術国際局長・文部省大臣官房会計課長通知)に基づき、所要事項を改める。

富山大学附属図書館文献複写規則(昭和42年8月17日制定)の一部を次のように改正する。

別表を次のように改める。

別表

文 献 複 写 料 金 表

種 別	単 位	料 金		備 考	
		学内者	学外者		
印 画 引 伸	リーダープリンター	1 枚	20 円	35 円	
電子式複写方式	A 3 判以下	1 枚	20 円	35 円	

附 則

この規則は、平成11年5月19日から施行し、平成11年4月1日から適用する。

文 献 複 写 料 金 表 (改正前)

種 別	単 位	料 金		備 考	
		学内者	学外者		
印 画 引 伸	リーダープリンター	1 枚	20 円	35 円	
電子式複写方式	B 4 判以下	1 枚	20 円	35 円	

—— 附属図書館統計（平成8年度～平成10年度） ——

区 分		平成8年度	平成9年度	平成10年度
蔵 書	和	583,711 冊	597,008 冊	609,180 冊
	洋	271,648 冊	278,461 冊	284,536 冊
	計	855,359 冊	875,469 冊	893,716 冊
所 蔵 雑 誌 数	和	10,182 種	10,555 種	10,649 種
	洋	4,849 種	5,248 種	5,326 種
	計	15,031 種	15,803 種	15,975 種
年 間 受 入 数	和	12,708 冊	13,297 冊	12,172 冊
	洋	6,471 冊	6,813 冊	6,075 冊
	計	19,179 冊	20,110 冊	18,247 冊
年 間 受 入 雑 誌 数	和	5,332 種	5,594 種	5,298 種
	洋	1,718 種	1,740 種	1,702 種
	計	7,050 種	7,334 種	7,000 種
年 間 製 本 冊 数 及 び 金 額	冊 数	4,830 冊	4,636 冊	4,229 冊
	金 額	7,779,615 円	7,867,478 円	7,145,374 円
奉 仕 対 象 者 数	学 生	7,470 人	7,402 人	7,360 人
	教 職 員	814 人	1,163 人	1,099 人
年 間 入 館 者 数 本 館	時 間 内	122,509 人/開館 216 日	129,820 人/開館 275 日	152,069 人/開館 272 日
	時 間 外	36,740 人/開館 200 日	40,648 人/開館 218 日	41,930 人/開館 205 日
年 間 入 館 数 工 学 専 門 図 書 室	時 間 内	93,024 人/開館 305 日	86,340 人/開館 302 日	84,659 人/開館 272 日
	時 間 外	16,833 人/開館 238 日	17,992 人/開館 236 日	19,804 人/開館 205 日
年 間 館 外 貸 出 冊 数 本 館	学 生	15,704 人/36,348 冊	15,919 人/38,547 冊	19,463 人/37,746 冊
	教 職 員	2,548 人/20,805 冊	2,815 人/32,688 冊	2,740 人/14,902 冊

区 分		平成 8 年度	平成 9 年度	平成 10 年度	
年間館外貸出冊数 工学専門図書館	学 生	6,808 人 13,805 冊	5,956 人 12,493 冊	6,536 人 11,526 冊	
	教 職 員	1,971 人 4,212 冊	893 人 2,692 冊	702 人 1,598 冊	
参 考 業 務 利 用 件 数 (利用者別)	学 生	4,732 件	3,663 件	4,290 件	
	教 職 員	4,520 件	3,118 件	3,892 件	
	学 外 者	1,324 件	2,433 件	3,044 件	
参 考 業 務 利 用 件 数 (業務内容別)	文 献 所 在 調 査	6,029 件	5,319 件	6,592 件	
	事 項 調 査	2,431 件	938 件	1068 件	
	利 用 指 導	2,116 件	2,957 件	3,566 件	
相 互 貸 借 現 物 相 互 貸 借	貸	国内	415 冊	396 冊	675 冊
		国外	0 冊	0 冊	0 冊
	借	国内	113 冊	192 冊	232 冊
		国外	0 冊	1 冊	0 冊
文 献 複 写	学 内		2,810 件 28,524 枚	2,719 件 30,428 枚	2,707 件 30,732 枚
	学 外	受 託	3,669 件 30,778 枚	1,880 件 14,676 枚	3,373 件 26,616 枚
		依 頼	3,446 件 28,313 枚	3,936 件 34,619 枚	4,131 件 30,663 枚
図 書 館 職 員 数	総 数		29 人	29 人	29 人
	定 員		19 人	19 人	19 人
	定 員 外		10 人	10 人	10 人
図 書 館 職 員 1 人 当 奉 仕 対 象 者 数	定 員		436 人	451 人	445 人
	定 員 外 含 む		286 人	296 人	292 人
図 書 館 資 料 購 入 費(千円)		159,694 千円	189,318 千円	180,757 千円	

図書館関係会議

(平成11年4月～9月)

◎ 学内関係

- 第1回附属図書館商議会
期日 平成11年4月21日
場所 附属図書館会議室
- 第2回附属図書館商議会
期日 平成11年5月17日
場所 附属図書館会議室
- 第1回写真集作成小委員会
期日 平成11年7月2日
場所 附属図書館会議室
- 第1回年史編纂委員会
期日 平成11年7月16日
場所 附属図書館会議室
- 第3回附属図書館商議会
期日 平成11年7月23日
場所 附属図書館会議室

- 第1回書香編集委員会
期日 平成11年7月23日
場所 附属図書館会議室
- 平成11年度北陸地区国立大学
附属図書館会計担当者会議
期日 平成11年8月30日
場所 附属図書館会議室

◎ 学外関係

- 第50回北信越地区国立大学図書館協議会
期日 平成11年4月22日～23日
場所 ホテルニューオータニ長岡
- 国立大学附属図書館事務部課長会議
期日 平成11年5月25日
場所 東京医科歯科大学
- 第46回国立大学附属図書館協議会総会
期日 平成11年6月23日～24日
場所 仙台国際センター

平成11年度附属図書館商議員名簿

(平成11年10月1日現在)

館長	小谷 仲男	理学部	鈴木 邦雄
人文学部	高安 和子	理学部	栗本 猛
人文学部	内山 純蔵	工学部	北野 博巳
教育学部	村上 宣寛	工学部	川原田 淳
教育学部	市瀬 和義	事務部長	竹若 重勝
経済学部	飯田 剛史	情報管理課長	星野 茂登一
経済学部	澤井 啓	情報サービス課長	田中 成直